

第3回研究会速報

■日時: 2008年7月12日(土) 13時~17時 ■会場: 辻調理師専門学校

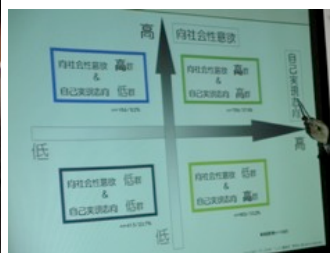


総勢約30名、たくさんの方がご参加

今回の研究会は、高校生調査報告のリリースに合わせ、研究会参画校である専門学校の教職員に加え、現役の高校教員、大学教員、NPO法人関係者やマスコミ関係者等、総勢約30名の方にお越しいただきました。

研究会はまず、高校生調査結果のリリース内容の報告からスタート。日経新聞や日本教育新聞でも取り上げられた高校生のしごと観に関するキーワードは「向社会的性」。自己実現意欲の強い生徒よりも、社会に貢

献したい、社会を変えたいという思いをもった生徒の方が、勉強に対する意欲が高い傾向があるという報告がなされました。



高校・専門学校・大学・NPO関係者が参加！



左に吉田氏、右にはカリキュラムを一部担当した、NPO法人JAEの池田さんです

13:40-14:30 ゲスト講演(1)

関西大学北陽高校キャリアクラス担任 吉田忠良氏

お互いがお互いを認め合える クラス作りの経緯と秘訣とは？

就職を目指す生徒が集まる「キャリアクラス」担任の吉田先生に、クラスでの教育事例をお話いただきました。進学クラスに対するコンプレックスが強く、何に対しても積極的にいえずにいた生徒達が、1つのクラスとして団結し、成績の向上(特に中間層)、遅刻欠席数の激減(1年時合計93→2年時は0に)、体育祭の団体競技での優勝など、見違えるように変化した経緯を紹介。クラスを一変させた吉田先生の取り組みとして、「自分たちはキャリアクラスなんだ、という意識づけを行う」「グループ学習を積極的に取り入れる」「教科外学習を増やし、勉強以外でも生徒が活躍できる場を作る」といった方針を紹介いただきました。「それぞれの生徒が得意分野を見つけ、お互いがお互いを認め合えるクラス」という吉田先生の言葉には、参加者一同大きな感銘を受けました。



自校での取り組みを語る
教員の方々



14:30-15:00 高校教員によるキャリア教育の事例紹介 参加者が自校のキャリア教育の 事例を紹介！

今回の研究会には、吉田先生の他にも、関西圏の高校から現役の教員にご参加いただきました。前回の研究会でも講演いただいた豊島高校(前・西成高校)の杉本先生の取り組み事例に加え、職業カルタを取り入れた授業など、各校での生の取り組みを紹介いただきました。

15:10-15:30

ゲスト講演（2）：サイトにみる子どもと大人の交流

13歳のハローワーク公式サイト編集長 松尾和祥氏

子どもからの生の質問を紹介

リニューアル以降順調にユーザー数が増加し、2008年5月に月間850万ページビューを達成した「13歳のハローワーク公式サイト」におけるQ&Aコーナー（子どもが大人に対して、職業に関する様々な質問をできるコンテンツ）での質問例を、サイト編集長の松尾氏よりご紹介いただきました。「どうやったらシェフになれますか？」「国境なき医師団に興味があります」といった具体的な職業に関するものから「安定した職業ってどんなもの？」「大人になるってどういうこと？」といった難しいけど大人の心をくすぐるものまで、幅広い質問を紹介いただき、子どもと大人の間で活発な交流がなされていることを伝えていただきました。

15:30-16:20

ゲスト講演（3）：予測不可能な社会の中でのキャリアデザイン

辻調理師専門学校キャリア・職業教育研究室長 尾藤環氏

コミュニティを発達させる力の養成

辻調理師専門学校で学生のキャリア教育のあり方を研究する尾藤環氏に、現代社会に合ったキャリア教育のあり方とその取り組み事例を講演いただきました。企業と学生のビジョンを見えるものにし、ビジョンに共感することでキャリアデザインを促していく「ビジョン共感型キャリアデザイン」からさらに発展して、自分と企業（コミュニティ）との違和感からそのコミュニティを発達させていく「ビジョン創出型キャリアデザイン」についての概要を提唱。その取り組み事例として、企業の経営手法であるシナリオ・プランニングを取り入れた、コミュニティを発達させる力の養成方法を、料理業界での実施例をもとに紹介いただきました。



教育現場が多様化していることを実感 （アンケートより）



今回の研究会はどうでしたか？ ～参加者アンケートより～

●北陽高校のキャリアコースの取り組みがとても参考になった●各高校さんのキャリアサポートにおける取り組みが良く分かった●高校教育の現場が多様化してきていることが、現役高校教員の方のお話で感じることができました。●皆さん積極的でコミュニケーションが上手だった。おやつによって場が和やかになってよかった●高校・専門学校・NPOやそのほか様々な分野の方がいたのに、あまり意見を聞くことができなくて残念●府立高校教員という狭い社会での知識がほとんどなので、広い世界でのお話を聞けて参考になりました●高校生に対するアンケートの詳細をもっと聞きたかったです●パネルディスカッションを一度やりましょう●キャリア教育の領域を広げつつ、この会での方向性を1つ決めていけたら良いと思った。